

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課

担当課長名：高松 諭

事業名	一般国道2号 <small>たましま かさおか</small> 玉島・笠岡道路（Ⅱ期）	事業区分	一般国道	
起終点	自： <small>おかやまけんあさくちしこんこうちようさがた</small> 岡山県浅口市金光町佐方 至： <small>おかやまけんかさおかしにしおおしましんでん</small> 岡山県笠岡市西大島新田	延長	9.4 km	
事業概要	<p>一般国道2号は、<small>おおさかふおおさかしきたく</small>大阪府大阪市北区を起点とし、<small>ふくおかけんきたきゆうしゆうしもじく</small>福岡県北九州市門司区までを結ぶ延長約680kmの主要幹線道路である。</p> <p>玉島・笠岡道路（Ⅱ期）は、<small>おかやまけん</small>岡山県南西部に位置し、<small>おかやまけんあさくちしこんこうちようさがた</small>岡山県浅口市金光町佐方から<small>かさおかしにしおおしましんでん</small>笠岡市西大島新田を結ぶ延長9.4kmの高規格道路である。</p> <p>事業目的は、岡山県西部地域の交通混雑の緩和及び交通安全の確保、周辺地域の連携強化を図るものである。</p>			
H20年度事業化	H12年度都市計画決定	H24年度用地着手	H24年度工事着手	
全体事業費	約636億円	事業進捗率 (令和5年3月末時点)	約58% 供用済延長 0.0 km	
計画交通量	49,500 ～ 57,600 台/日			
費用対効果分析結果	B/C (3便益) <small>(事業全体)</small> 4.5 <small>(残事業)</small> 11.8	総費用 <small>(残事業)/ (事業全体)</small> 253 / 666 億円 (事業費：194/607 億円) (維持管理費：59/59 億円)	総便益 <small>(残事業)/ (事業全体)</small> 2,978 / 2,978 億円 (走行時間短縮便益：2,544/2,544億円) (走行費用減少便益：354/354 億円) (交通事故減少便益：80/80 億円)	基準年 令和5年
感度分析の結果	<small>(事業全体)</small> 交通量：B/C=3.1～5.6(交通量±10%) 事業費：B/C=4.3～4.6(事業費±10%) 事業期間：B/C=4.2～4.7(事業期間±20%) <small>(残事業)</small> 交通量：B/C=8.2～14.7(交通量±10%) 事業費：B/C=10.9～12.8(事業費±10%) 事業期間：B/C=11.2～12.4(事業期間±20%)			
事業の効果等	<ol style="list-style-type: none"> ①円滑なモビリティの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・損失時間の削減が期待される。 ・現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。 ・笠岡市から岡山空港へのアクセスが向上が期待される。 ②物流効率化の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・笠岡市から水島港（国際拠点港湾、国際バルク戦略港湾）へのアクセスが向上が期待される。 ・農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が期待される。 ③国土・地域ネットワークの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・高規格道路「倉敷福山道路」の一部として位置づけ。 ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる（里庄町～倉敷市） ④個性ある地域の形成 <ul style="list-style-type: none"> ・拠点開発プロジェクトを支援する（浅口市工業団地造成整備 事業）。 ・倉敷美観地区（R4観光入込客数：約232万人/年）へのアクセス向上が期待される。 ⑤災害への備え <ul style="list-style-type: none"> ・国道2号が岡山県地域防災計画における第1次緊急輸送道路であるとして位置づけ。 ・第一次緊急輸送道路である山陽自動車道、一般国道2号の代替路線として機能する。 ⑥地球環境の保全 <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の減少が期待される。 ⑦生活環境の改善・保全 <ul style="list-style-type: none"> ・NOX排出量の減少が期待される。 ・SPM排出量の減少が期待される。 ⑧他のプロジェクトとの関係 <ul style="list-style-type: none"> ・関連する大規模道路事業（笠岡バイパス）と一体的に整備する必要がある。 ・第3次晴れの国おかやま生き生きプラン（R3.3）において「企業誘致・投資促進プログラム」の重点施策「交通基盤整備」に位置づけ。 ・第2次浅口市総合計画（H29.3）において広域・地域間交流を担う道路網として位置づけ。 ・第7次笠岡市総合計画後期基本計画（R4.4）において、企業誘致の推進と雇用促進、道路ネットワーク及び港湾・漁港の整備を図る道路として位置づけ。 			

関係する地方公共団体等の意見

玉島・笠岡道路（Ⅱ期）は、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、3市1町（倉敷市、浅口市、笠岡市、里庄町）から構成される「国道2号玉島笠岡間整備促進協議会」より、早期整備の要望を受けている。

岡山県知事の意見：

一般国道2号 玉島・笠岡道路（Ⅱ期）について、継続するとの対応方針（原案）は妥当である。本路線は、広島県東部と岡山県西部を連絡する高規格道路「倉敷福山道路」の一部を構成する。国道2号の渋滞緩和は、物流の効率化や生産性の向上、さらには新たな企業立地に直結するため、非常に重要である。県西部では、令和2年3月の倉敷立体の完成により、渋滞が大きく緩和したところであり、平成27年3月に供用した玉島・笠岡道路（Ⅰ期）の整備効果を最大限発揮させるためにも、本区間の早期供用が重要である。開通見通しを公表している令和7年度に向けて、県としてもアクセス道路の整備を着実に進めているところであり、玉島・笠岡道路の確実な開通と、笠岡バイパスとの同時供用を強く望む。なお、事業の実施にあたっては、一層のコスト縮減に努めてもらいたい。

事業評価監視委員会の意見

事業者から各事業の概要、評価結果及び対応方針（原案）について説明を受け、事業が適切に実施されているか審議を行い、次のとおり意見の取りまとめを行った。審議の結果、再評価対象の事業は適切に実施されており、事業継続とすることとした事業者の判断は妥当であると意見集約した。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

周辺開発の増進に伴い、慢性的な渋滞や交通事故が多発している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

令和5年3月末時点で、事業全体の進捗率は約58%、用地の進捗率は100%である。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

現在、調査設計、工事推進を行っており、令和7年度供用を目指し事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

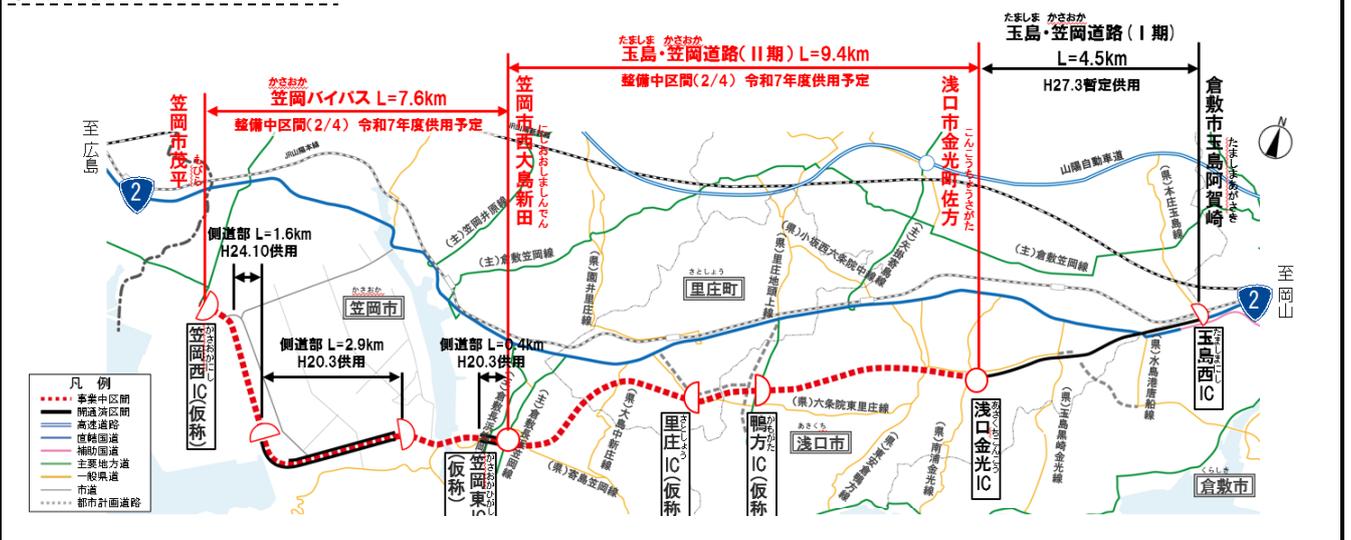
今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

対応方針（原案） 事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。